



スクールレポート

SCHOOL REPORT 54
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ふるさと学習」と「餅つき大会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

野田小学校「ふるさと学習」 調べたことを地域に発信！

野田小学校では、生活科や総合的な学習の時間を使って「ふるさと学習」を進めています。これは、校区の自然・産業・文化などを学び、ふるさとへの愛着を深めることをねらいとしています。

今年度の各学年のテーマは、「どうまい牛乳」「サンテパークたはら」「田原牛」「芦ヶ池」などです。子どもたちは、調べたことを劇や歌にして、野田小フェスティバル(学習発表会)で発表しました。なかでも、郷土の偉人である河合為治郎の劇化や、十数年ぶりに復活した豊年踊りは大変好評でした。子どもたちや保護者の方からは「親でも知らなかった野田のことをわかりやすく教えてくれて、とてもためになりました」「豊年踊りはなつかしく、今でも踊れる自分にびっくりしました。これからも続けて次の世代につなげてほしいです」などの感想が寄せられました。

これからも、地域に根ざす「ふるさと学習」を展開していきます。

※河合為治郎…嘉永3年に生まれ、野田村振興に力を尽くし、賭博の禁止や耕地整理、養蚕業の奨励などを行った人



●4年生が自分たちで劇化した為治郎劇



●豊年踊りの衣装で記念撮影する5年生

●おじいさんと一緒に餅つき



伊良湖小学校「餅つき大会」 地域との絆を育む餅つき！

伊良湖小学校では、平成21年、5年生の「お米づくりをしたい！」の声から、PTA役員さんの協力を得て田んぼを作りました。それから毎年、5年生を中心に餅米づくりを行っています。

10月には祖父母学級で、餅つき大会を開催しました。子どもたちが収穫した餅米で、地域のおじいさん、おばあさんと一緒に餅つきを行いました。当日は、近所のおじいさんに杵の持ち方や餅のつき方を教えてもらったり、おばあさんに餡ころ餅の作り方を教えてもらったりしました。みんなで協力しながらついた餅をおいしく食べ、行事が終わるころには、おじいさん、おばあさんとすっかり打ち解けて仲良くなっていました。

この餅つき大会は、地域との絆を強くするよい機会となっています。